

# 公共交通体系検討に向けた町民アンケート調査

## 集 計 結 果

### <目次>

1. アンケート調査概要 .....	1
2. 結果の概要 .....	3
2.1 回答者の属性 .....	3
2.2 普段の生活交通 .....	5
2.3 公共交通サービスのあり方について.....	14
2.4 望ましい公共交通体系づくりへの意見・アイデア.....	19

# 1. アンケート調査概要

## (1) 背景と目的

### ①背景

- ・ 大崎上島町では、公共交通サービス維持のために年間1億4,200万円（海上交通9,500万円、陸上交通4,700万円／令和4年度）を負担しており、その金額は海上交通を中心に増大傾向にある。（直近3年間で1,700万円の増加）
- ・ 明石～小長フェリー航路に生じた問題を機に、町民において公共交通の存続への危機意識が高まっていると考えられる。
- ・ 一方、陸上交通では、昨年度「デマンド型おと姫バス」の社会実験を行い、これが好評だったことを受け、町が運営する現行バスの運行見直しも念頭に、今年度、より期間を延ばした実験運行を行っている（令和5年12月16日～令和6年3月31日）。

### ②調査目的

- ・ 今後も公共交通サービス維持のための町負担額の増加が懸念される中、本町の公共交通サービスを維持するためには効率的な体系づくりが課題である。
- ・ 一方で、効率化とは不効率なサービス内容を見直すことであり、当該手段を利用する町民に不便をかけることも想定される。
- ・ また、今年度実証運行する「デマンドバス」が本格導入された場合、より高い自由度での町内移動が可能となり、効率的な体系づくりの起爆剤となることが期待できる。
- ・ こうした状況を踏まえて、公共交通サービス維持の町負担のあり方などについての考えを広く聴取するため、町民1,000名を対象としたアンケート調査を実施した。

## (2) 実施概要と回収状況

### ①実施概要

本調査の実施概要は、次のとおりである。

- 配布対象：町民 1,000 名
- 対象年齢：18 歳以上
- 配布方法：郵送
- 回収方法：郵送、または役場本庁・各支所に設置した回収箱
- 発送日：令和 5 年 11 月 30 日（木）
- 回収締切日：令和 5 年 12 月 18 日（月）

### ②回収状況

アンケート調査票を 1,000 名に配布し、592 名からの回収を得た。

表 1.1 配布・回収状況

配布数	1,000 件
回収数	592 件
回収率	59.2%

## (3) 数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率は全て、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数に対する百分率（%）を表している。1 人の対象者に 2 つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0% を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示した。単数回答設問では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が 100.0% にならない場合がある。

## 2. 結果の概要

本資料では、調査を実施した次の項目についての整理を行う。

- (1) 回答者の属性
- (2) 普段の生活交通
- (3) 公共交通サービスのあり方について
- (4) 望ましい公共交通体系づくりへの意見・アイデア

### 2.1 回答者の属性

#### (1) 個人属性

- 居住地は、「大崎」が51.0%と最も多く、次いで「東野」が26.9%、「木江」が21.3%と続く。
- 性別は、「女性」が若干「男性」を上回るものの、概ね半々。
- 年齢は、「70代」が31.6%と最も高く、「80歳以上」を加えると過半数を占める。

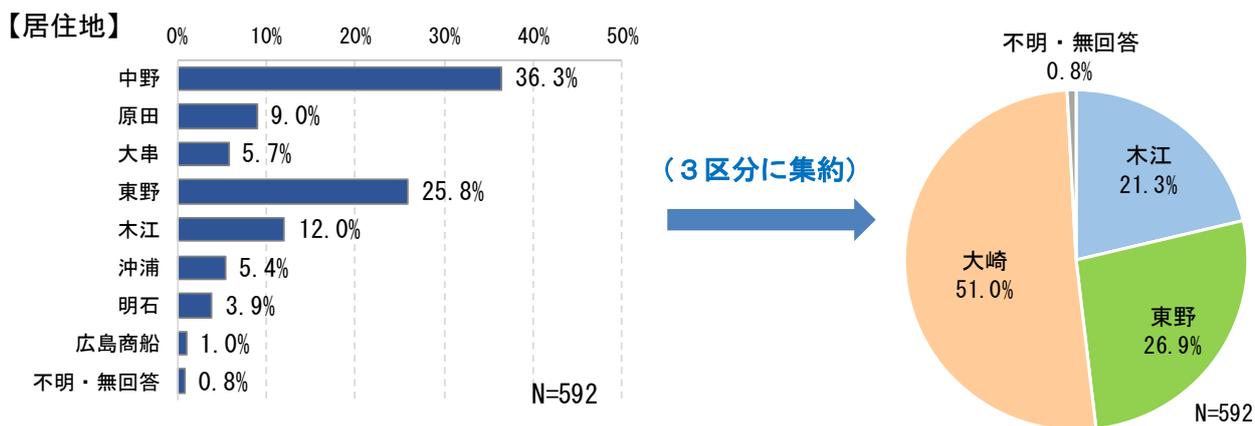


図 2.1 居住地

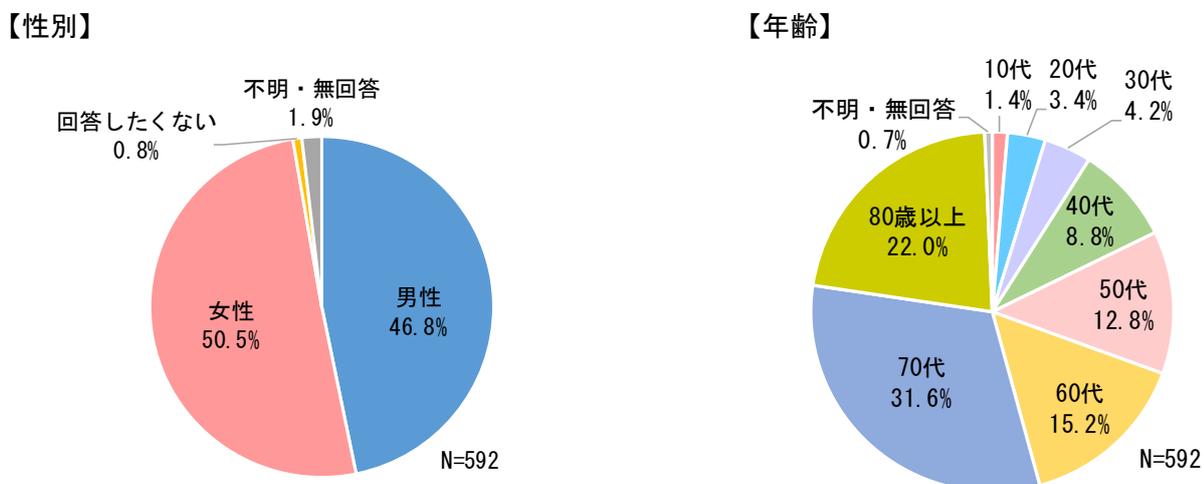


図 2.2 性別と年齢

## (2) 世帯構成

- 「ひとり暮らし」が21.8%、「夫婦のみ」が36.3%であり、世帯人数が少ない回答者が多い。
- 「ひとり暮らし」の割合は、若い世代、及び70代以上で比較的高い。

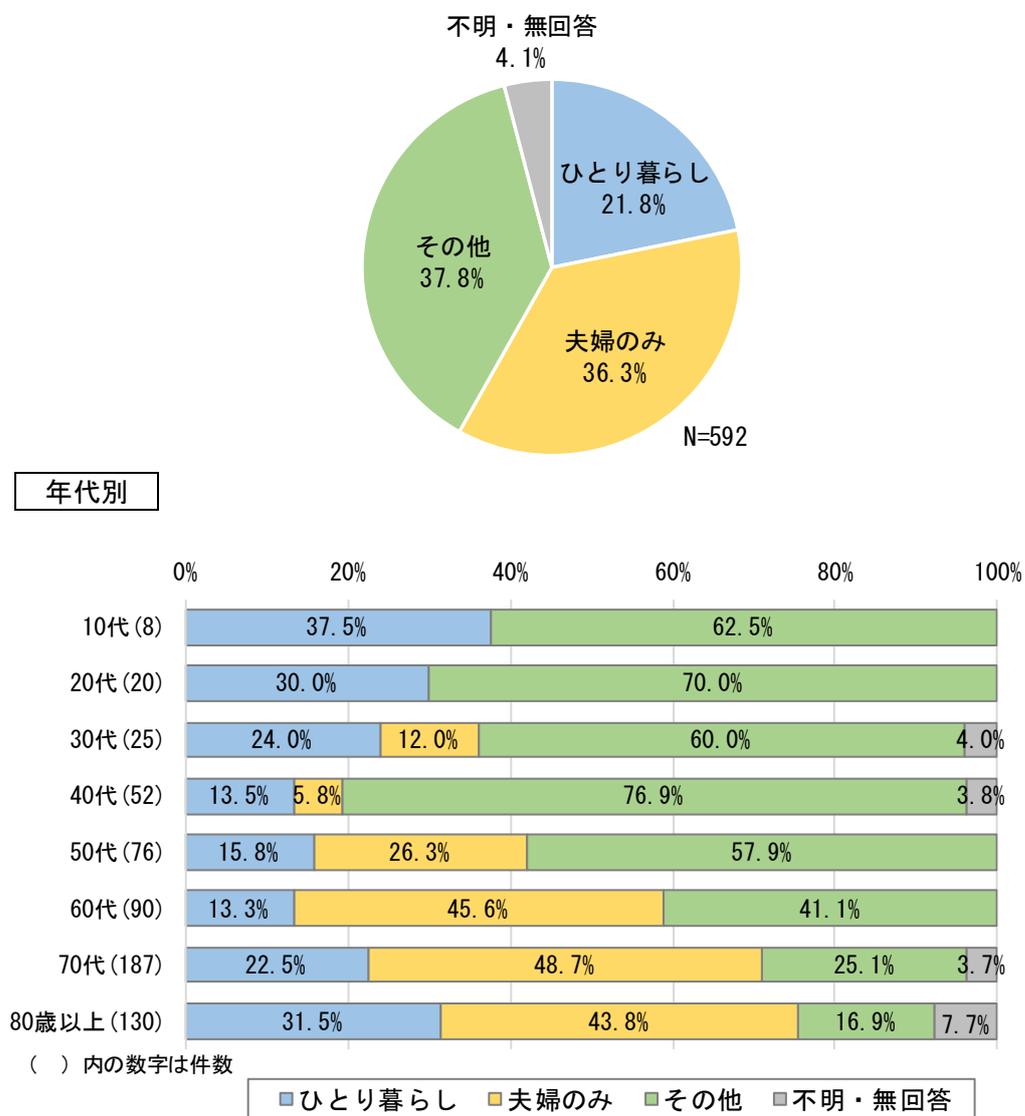


図 2.3 世帯構成

## 2.2 普段の生活交通

### (1) 自動車の利用

#### ①大崎上島町内での自動車（自家用車）の利用

- 「自分で運転する」が76.5%と最も高く、次いで「家族に送迎してもらう」が16.2%など、自動車を利用する回答者は多い。一方、「自動車は利用しない」は6.6%。
- 年齢別では10代、80歳以上で「自分で運転する」の割合が低い。

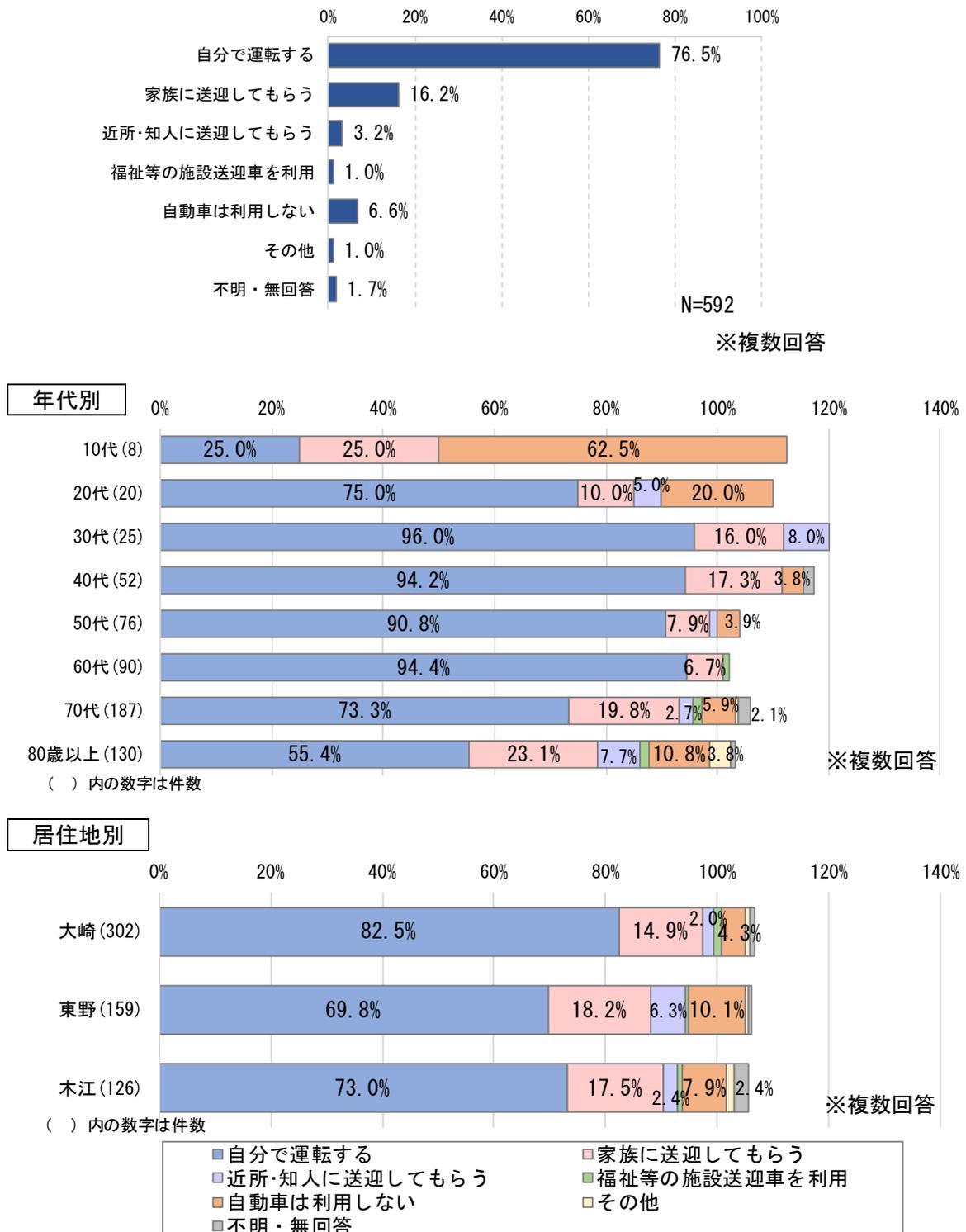


図 2.4 外出時の交通手段

## (2) 公共交通の利用状況

### ① 「おと姫バス」の利用と満足度

#### ア) 利用頻度

- 「利用しない」が84.0%、利用した回答者は14.2%である。
- 年代別で見ると、若い世代と高齢世代に利用されており、高齢世代では年代が上がるにつれ頻度が高くなっている。
- 居住地別に見ると、「利用しない」が大崎で90.7%となっており、他の地区と比較して高い。

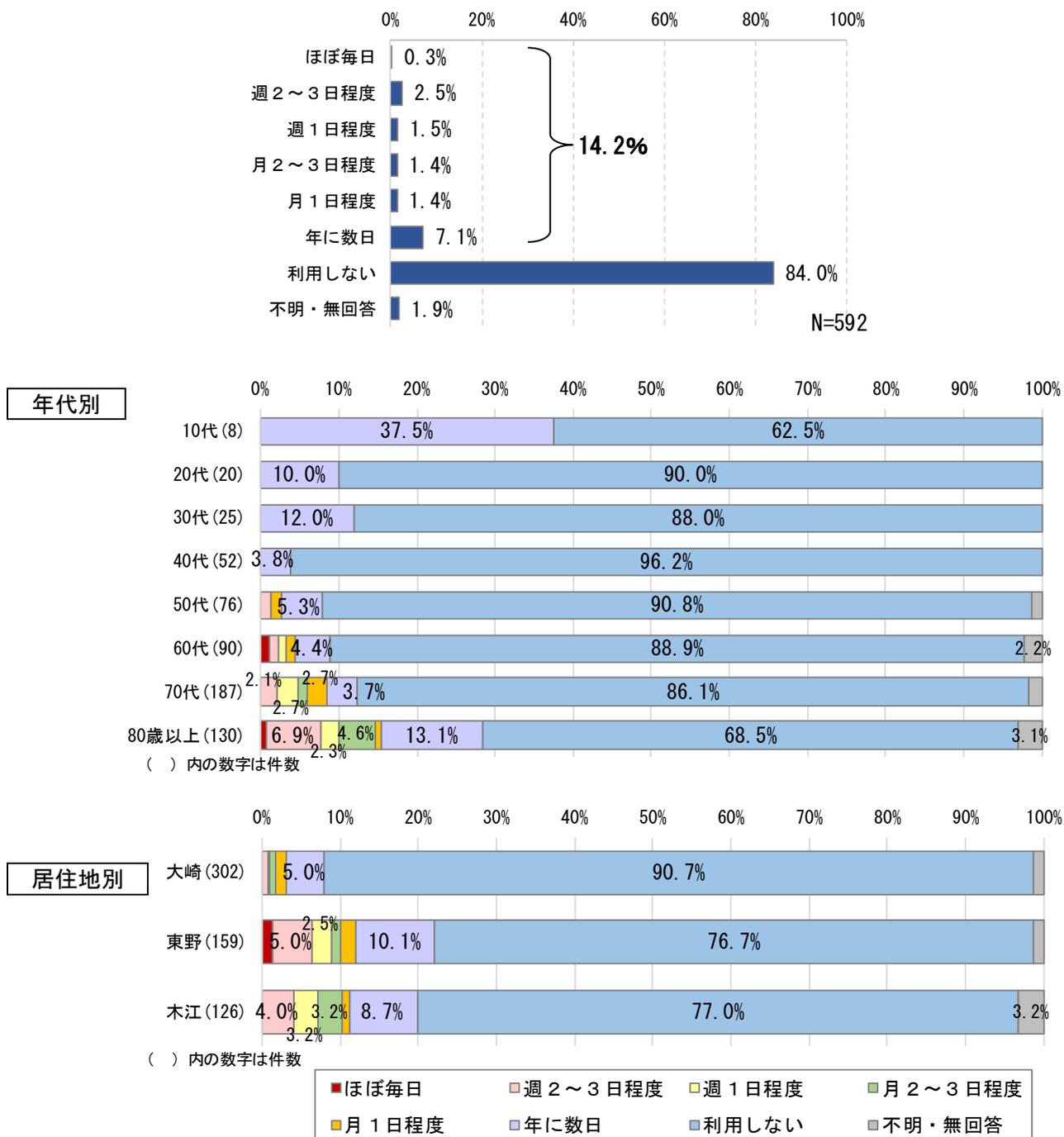
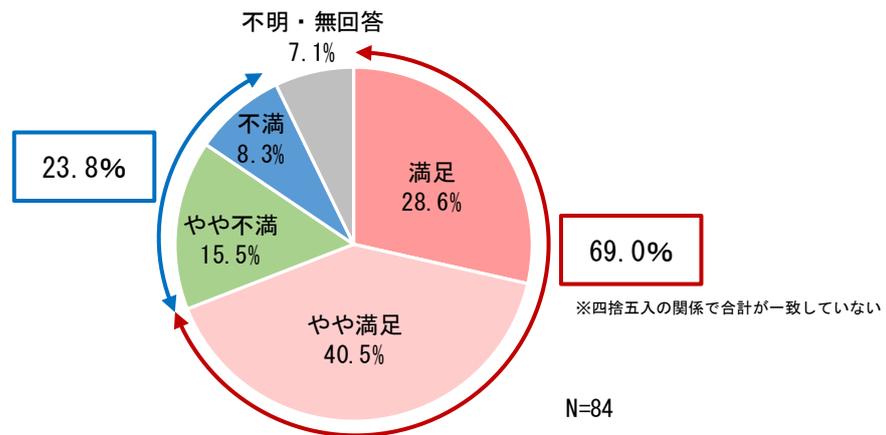


図 2.5 おと姫バスの利用の程度

イ) 満足度 **※利用する人のみ**

- 「やや満足」が40.5%、「満足」が28.6%で、あわせて69.0%が満足と回答している。



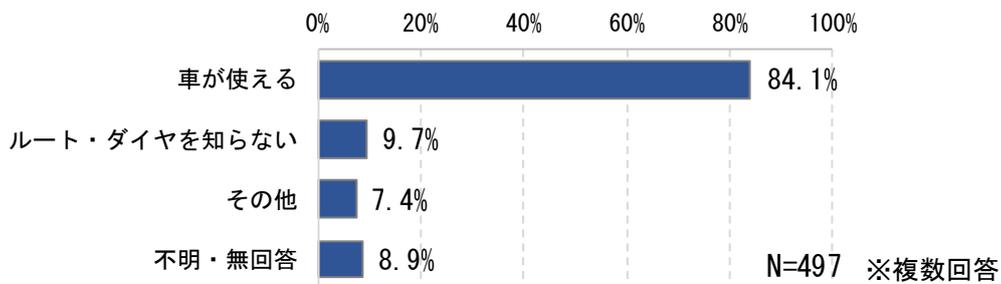
<不満の理由（類似意見を集約）> ※複数回答

意見の内容	件数
便数・ダイヤが不便	9
フェリーとの接続が不便	7
ルートが不便	3

図 2.6 満足度（おと姫バス）

ウ) 利用しない理由 **※利用していない人のみ**

- 「車が使える」が84.1%で大多数を占める。



<「その他」の内容（類似意見を集約）> ※複数回答

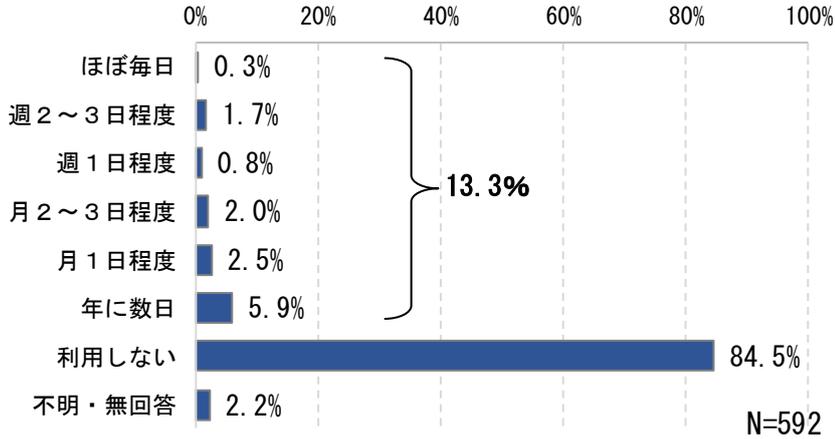
意見の内容	件数
都合に合わない・ルート等が不便	16
自転車・バイク等他の手段を利用	13
身体的な理由	4
わかりにくい	3
その他	1

図 2.7 おと姫バスを利用していない理由

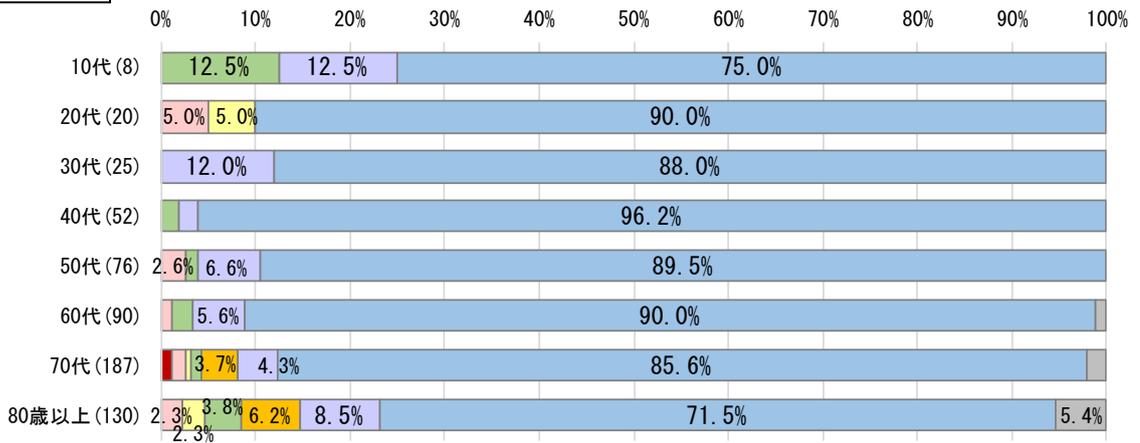
## ②「路線バス（さんようバス）」の利用と満足度

### ア) 利用頻度

- 「利用しない」が84.5%、利用した回答者は13.3%である。
- 年代別で見ると、若い世代と高齢世代に利用されている。高齢世代では年代が上がるにつれ頻度が高くなり、80歳以上では月1日以上の利用が14.6%を占める。
- 居住地別に見ると、「利用しない」が大崎で91.1%となっており、他の地区と比較して高い。

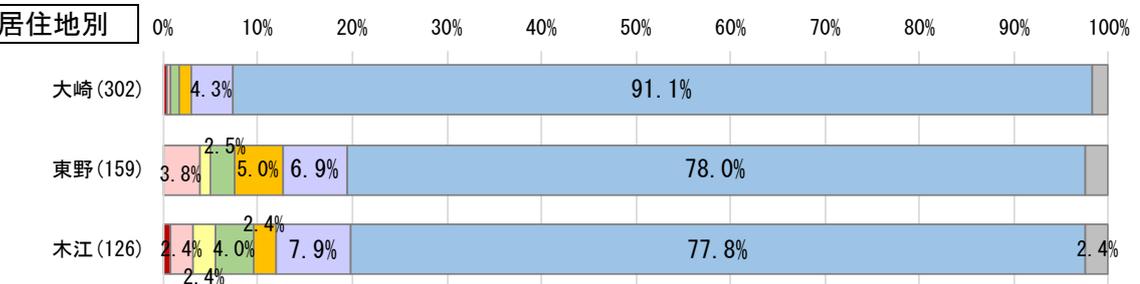


#### 年代別



( ) 内の数字は件数

#### 居住地別



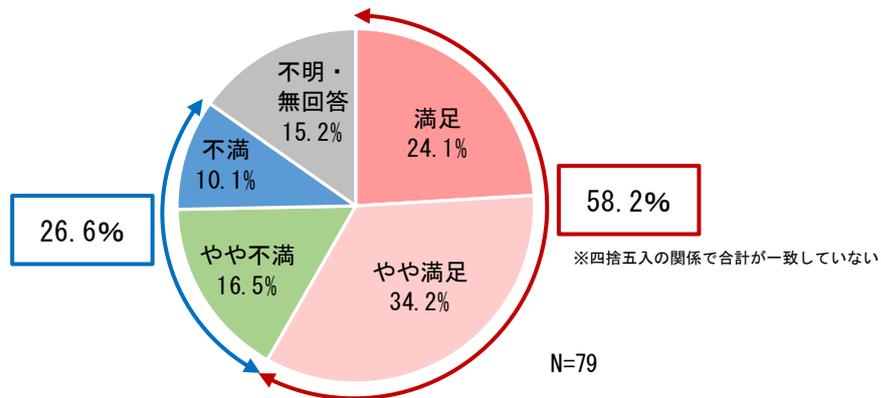
( ) 内の数字は件数



図 2.8 路線バス（さんようバス）の利用の程度

イ) 満足度 **※利用する人のみ**

- 「やや満足」が34.2%、「満足」が24.1%で、あわせて58.2%が満足と回答している。



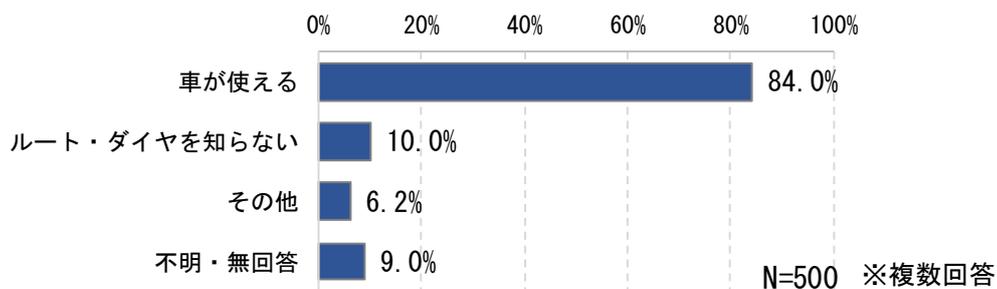
<不満の理由（類似意見を集約）> ※複数回答

意見の内容	件数
便数・ダイヤ等が不便	9
フェリーとの接続が不便	6
ルートが不便	4
その他	2

図 2.9 満足度（路線バス（さんようバス））

ウ) 利用しない理由 **※利用していない人のみ**

- 「車が使える」が84.0%で大多数を占める。



<「その他」の内容（類似意見を集約）> ※複数回答

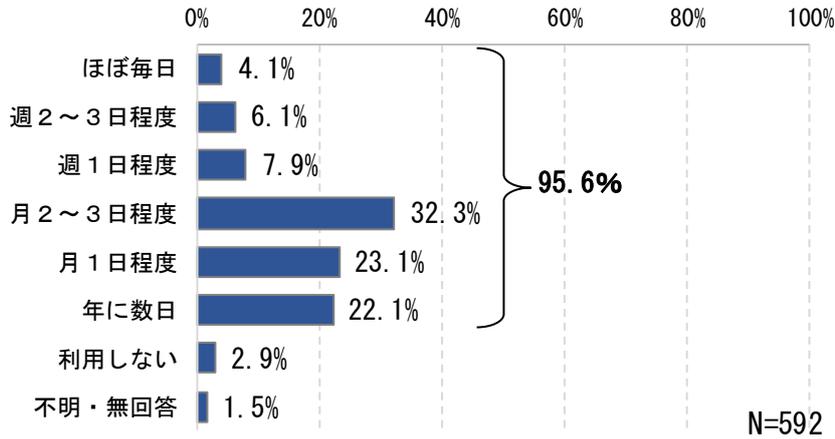
意見の内容	件数
都合に合わない・ルート等が不便	11
自転車・バイク等他の手段を利用	10
便が少ない	4
身体的な理由	4
おと姫を利用	3
わかりにくい	3
その他	1

図 2.10 路線バス（さんようバス）を利用していない理由

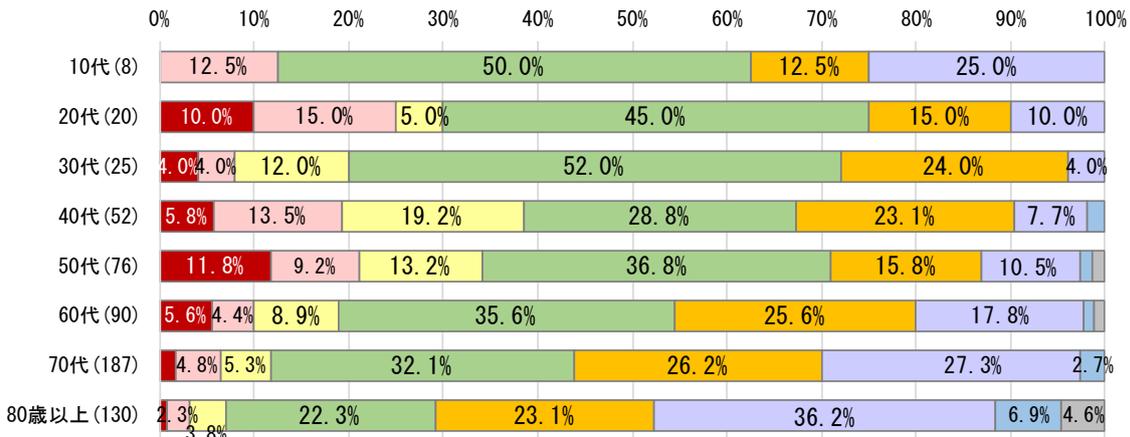
### ③「フェリー」の利用と満足度

#### ア) 利用頻度

- 「月2～3日程度」が32.3%と最も高く、次いで「月1日程度」(23.1%)、「年に数日」(22.1%)となっている。
- 全ての年代において月1日以上の利用の割合が半数以上となっている。週1日以上利用する割合は40代と50代が高く、それぞれ38.5%、34.2%となっている。



#### 年代別



( ) 内の数字は件数

#### 居住地別



( ) 内の数字は件数

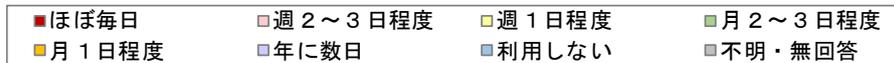
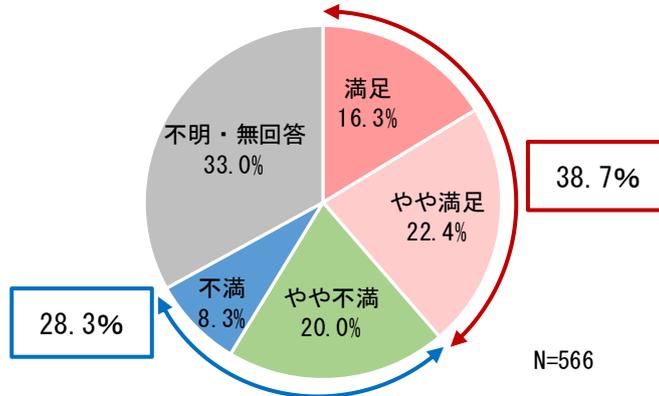


図 2.11 フェリーの利用の程度

イ) 満足度 **※利用する人のみ**

- 「やや満足」が22.4%、「満足」が16.3%で、あわせて38.7%が満足と回答している。
- 一方、「やや不満」と「不満」を合計した不満に感じている割合は28.3%となっている。



<不満の理由（類似意見を集約）> ※複数回答

意見の内容	件数
運賃が高い、補助希望	95
最終便の時間が早い（始発が遅い）	29
港が2つ・白水便と垂水便があること	23
本数が少ない、増便希望	21
JRやバスとの乗り継ぎが悪い	15
駐車場が少ない	9
欠航（故障）がある	9
シルバールーム・客室・トイレ改善希望	8
竹原港の切符売り場が遠い	4
積み残しがある	4
その他	17

図 2.12 満足度（フェリー）

ウ) 利用しない理由 **※利用していない人のみ**

- 「用事がない」が64.7%と大多数を占めている。

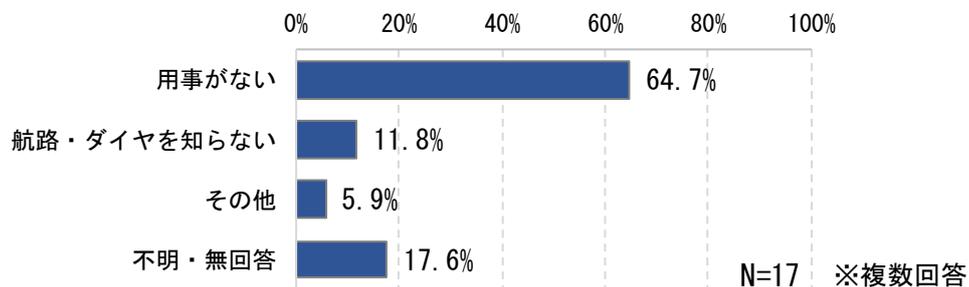
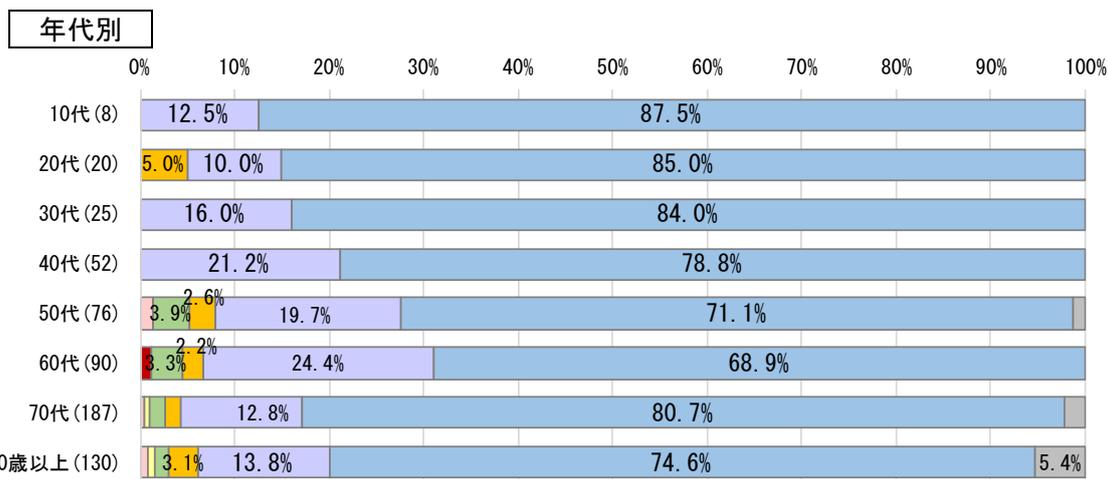
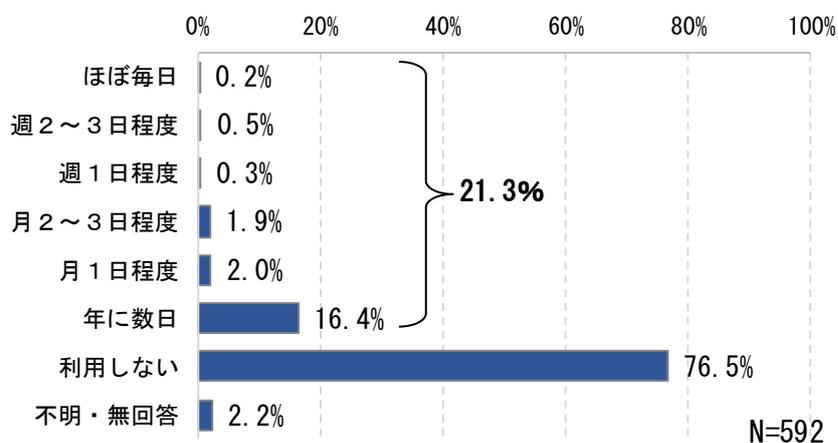


図 2.13 フェリーを利用していない理由

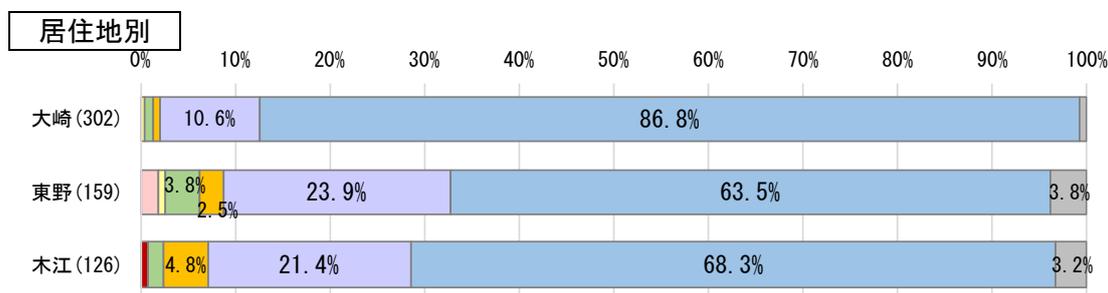
#### ④「高速船」の利用と満足度

##### ア) 利用頻度

- 「利用しない」が76.5%と最も高く、次いで「年に数日」が16.4%となっている。
- 年代別では50代以上において、月1日以上の利用が比較的高い。
- 居住地別に見ると、「利用しない」が大崎で86.8%と最も高い。



( ) 内の数字は件数



( ) 内の数字は件数

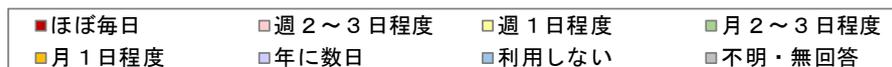
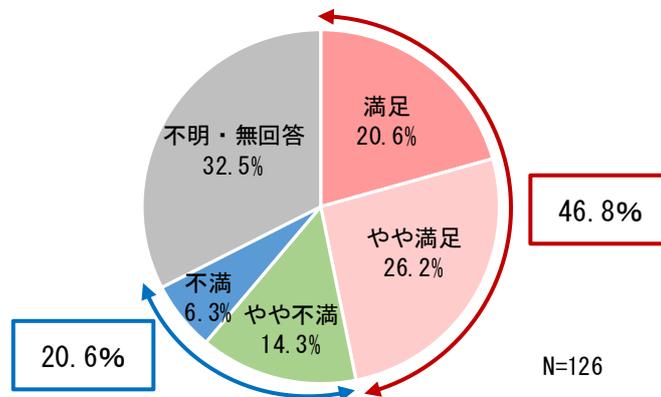


図 2.14 高速船の利用の程度

イ) 満足度 **※利用する人のみ**

- 「やや満足」が26.2%、「満足」が20.6%で、あわせて46.8%が満足と回答している。
- 一方、「やや不満」と「不満」を合計した不満に感じている割合は、20.6%となっている。



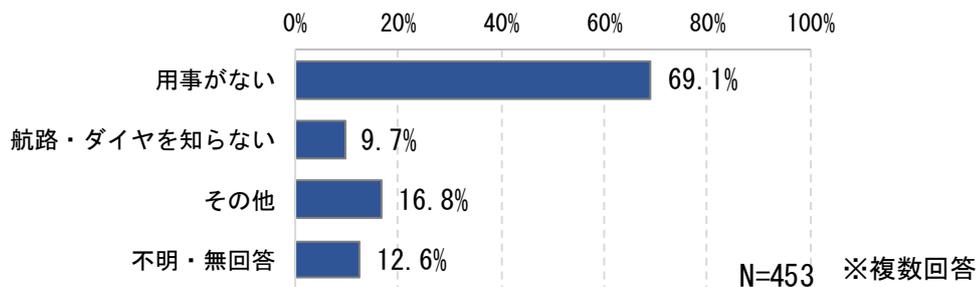
<不満の理由（類似意見を集約）>※複数回答

意見の内容	件数
便数・ダイヤ・航路が不便	14
運賃が高い	6
船・港への不満	5
不要	2

図 2.15 満足度（高速船）

ウ) 利用しない理由 **※利用していない人のみ**

- 「用事がない」が69.1%と大多数を占めている。



<「その他」の内容（類似意見を集約）>※複数回答

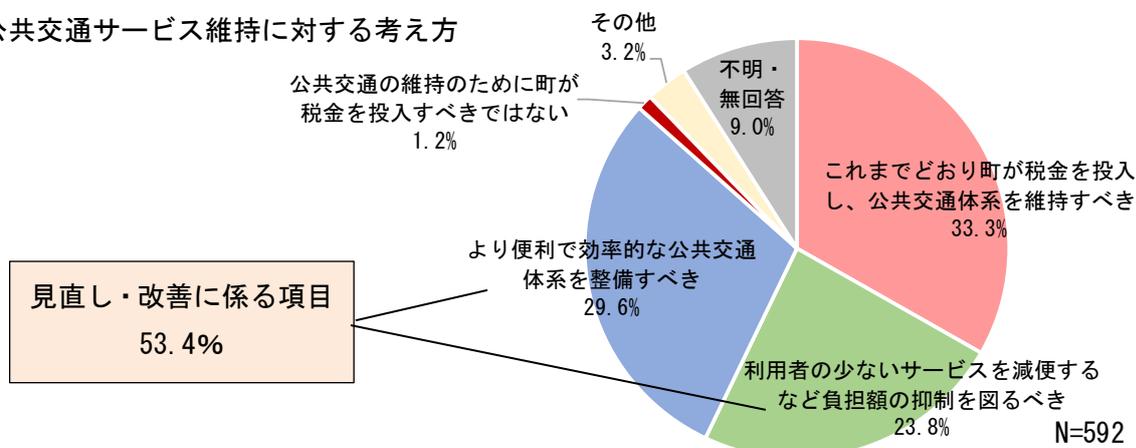
意見の内容	件数
フェリーを利用、車で利用	42
港が遠い	12
運賃が高い	11
都合に合わない・不便	6
便数が少ない	4
身体的な理由	4
必要が無い	2

図 2.16 高速船を利用していない理由

## 2.3 公共交通サービスのあり方について

- 「これまでどおり町が税金を投入し、公共交通体系を維持すべき」が33.3%を占める。
- 一方で改善に係る2項目の合計は53.4%を占め、うち「より便利で効率的な公共交通体系を整備すべき」が若干多く、全体の29.6%を占める。

### ①公共交通サービス維持に対する考え方



#### <「その他」の内容（類似意見を集約）>※複数回答

意見の内容	件数
交通サービスへの意見	6
税金で維持、適正な補助	5
交通体系づくり	4
架橋希望	3
税金投入反対、抑制	2
その他	4

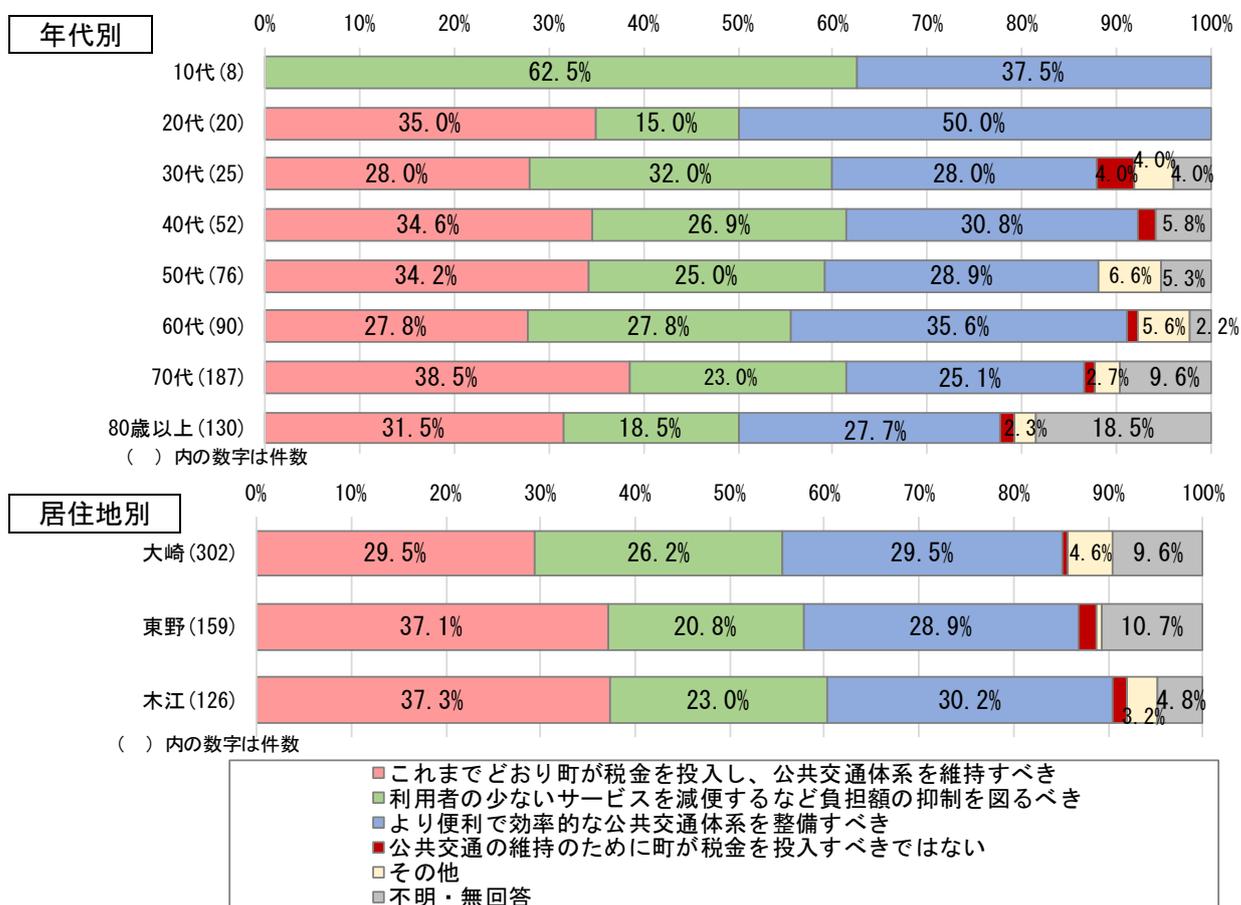
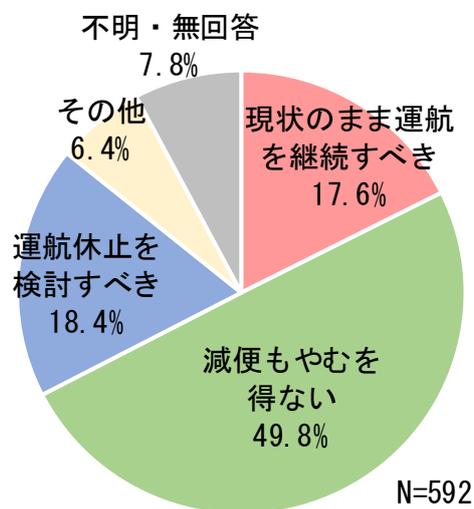


図 2.17 公共交通サービス維持に対する考え方

## ②「高速船」のあり方

- 「減便もやむを得ない」が49.8%で最も高く、次いで「運航休止を検討すべき」が18.4%となっている。
- 月1日以上の利用の有無別にみると、利用している人では「現状のまま運航を継続すべき」が27.6%となっているが、利用していない人では「減便もやむを得ない」が半数を超える。

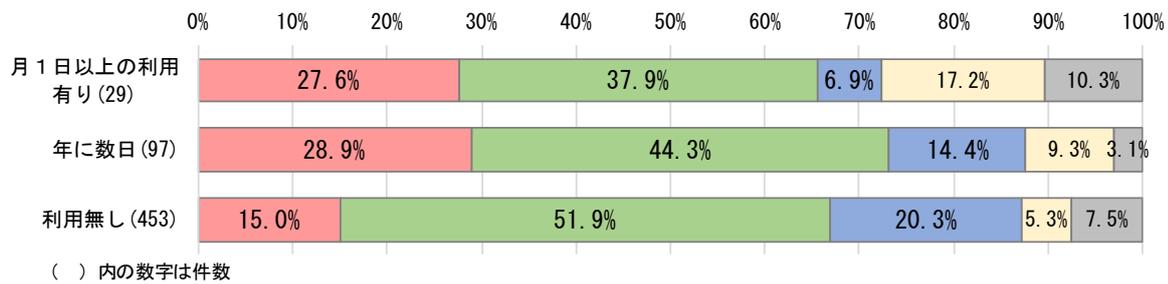


<「その他」の内容（類似意見を集約）>※複数回答

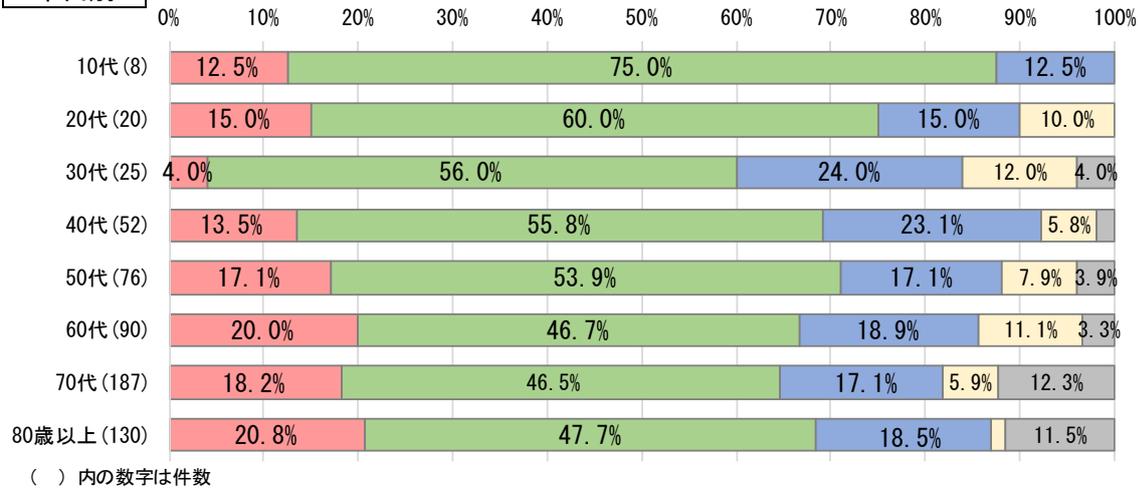
意見の内容	件数
バス等の充実・活用	11
区間の見直し	10
利用しない、わからない	6
航路・ダイヤ・運賃等の見直し意見	5
休止すべき	5
その他	9

図 2.18 高速船の必要性に関する考え方 (1)

**利用の有無別**



**年代別**



**居住地別**

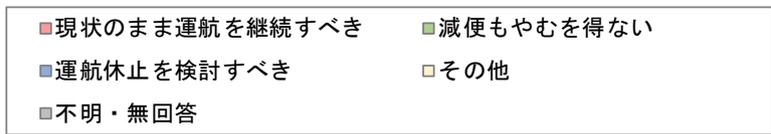
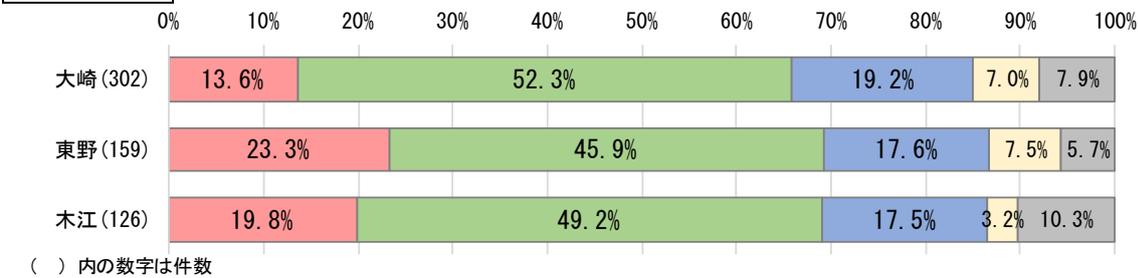


図 2.19 高速船の必要性に関する考え方 (2)

### ③仮に高速船を運航休止する際の既存利用者への支援

- 「既存利用者には、特別な支援を考えるべき」が53.4%と半数を超えている。
- 月1日以上の利用の有無別にみると、利用している人、利用していない人も共に「既存利用者には、特別な支援を考えるべき」が半数を超える。

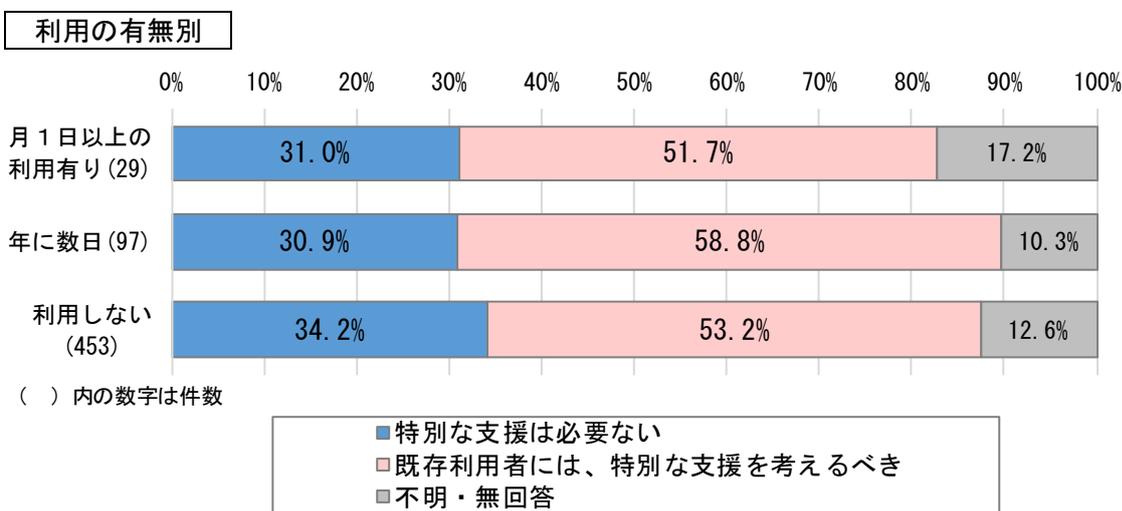
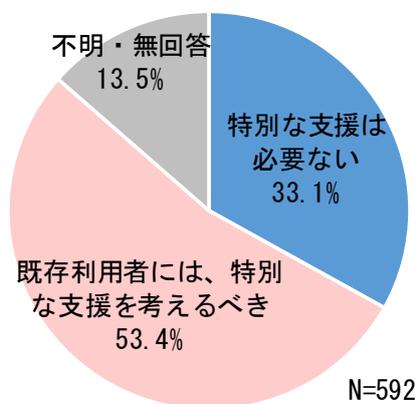


図 2.20 高速船既存利用者への支援 (1)

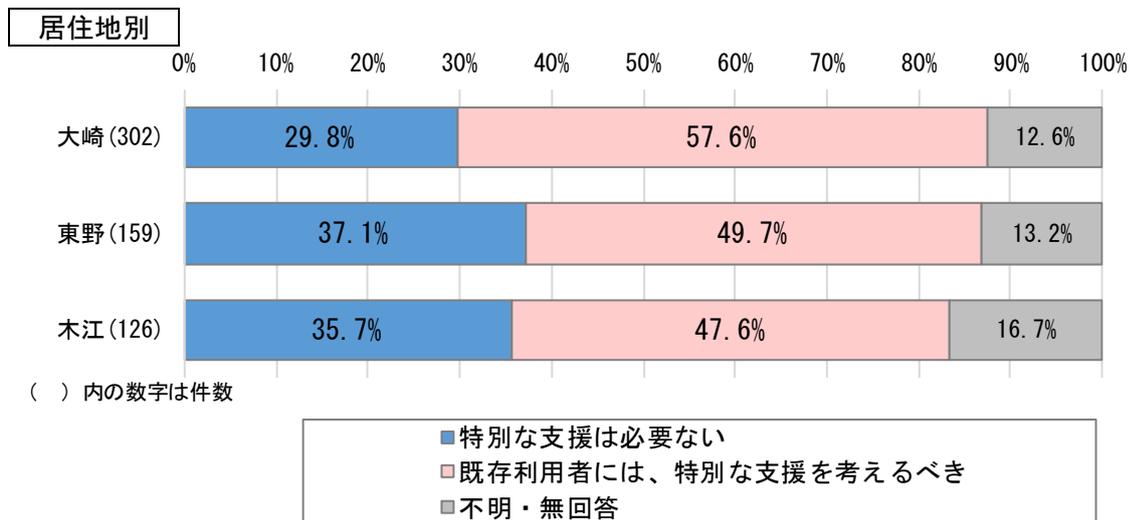
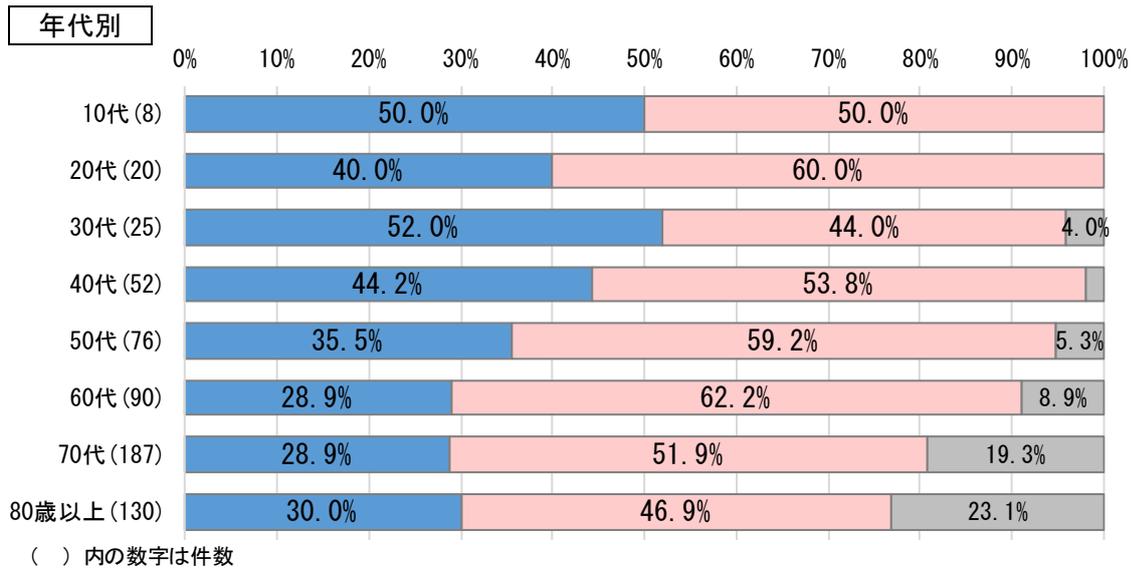


図 2.21 高速船既存利用者への支援 (2)

## 2.4 望ましい公共交通体系づくりへの意見・アイデア

※自由回答

- 「交通手段の意見、体系づくり」に関する記述が最も多く 23.5%、次いでライドシェアについての賛成・提案が 18.6%、デマンド型バスについての賛成意見が 17.5%となっている。

＜類似意見を集約＞※複数回答

意見の内容		件数	割合
デマンド型バス	賛成	32	17.5%
	改善等意見	18	9.8%
	反対・不要	3	1.6%
自動運転	賛成	13	7.1%
	反対・不安	6	3.3%
ライドシェア	賛成・提案	34	18.6%
	反対	9	4.9%
フェリー・港について	港統合、両方寄港、港間移動	9	4.9%
	運賃が高い	3	1.6%
	再編等意見	2	1.1%
	駐車場拡充	2	1.1%
バス	改善等意見	26	14.2%
	継続希望	2	1.1%
高速船	運休	7	3.8%
	見直し・減便	5	2.7%
	休止反対・存続希望	4	2.2%
その他	タクシー関連の意見	6	3.3%
	交通手段の意見、体系づくり	43	23.5%
	その他	24	13.1%
回答者数		183	100.0%

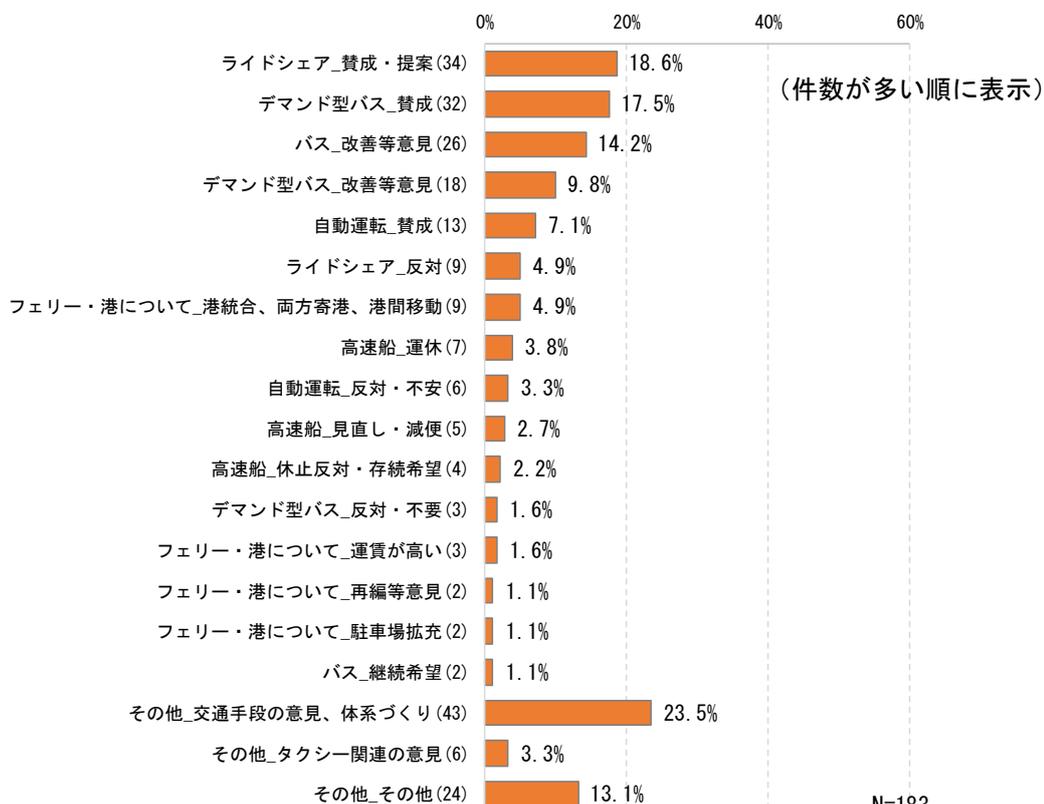


図 2.22 公共交通体系づくりへの意見等